東っ子

たのしみがゆきわたる東小学校

９月号

運動会ー赤白対抗
十月三日に向けて

秋らしいすがすがしい日が続いています。秋と言えば運動会。本校で最も大きな行事「秋季大運動会」の季節を迎えています。

運動会は、十月三日（土）に開催します。ここ数年、九月の最終週に実施していましたが、今年は、その時期の直前が五連休で練習日程が厳しくなることが想定されたため、一週間ずらして実施することになりました。このため地域で開催される行事日程を変更するなどの協力をしていただき心から感謝申し上げます。

数えて五十八回目の運動会の、児童会で話し合って決めたスローガンは「つなげ！勝利のバトン」全校三百六十七名みんなの心と心のバトンがつながる運動会となるように取り組んでいきます。

運動会は赤白対抗です。全校が赤組と白組に分かれて対抗戦を繰り広げ勝負していきます。赤・白のチーム分けは、一組が赤で二組が白というような分け方ではありません。同じ学級を赤・白二つのグループに分けて、全学年を合体してつくります。ですから、お子さんがどちらの色のチームなのかお子さんから聞いてください。そして当日、対抗種目で応援をお願いいたします。例年、地域のご高齢の皆様が多数お越しくださいます。今年もどうぞご近所お誘いあわせて、お出かけください。全校をあげて心からお待ちしております。

災害から身を守る防災訓練

保護者の皆様にはご家族お揃いで、ご親戚にもお声を掛けていただき、子どもたちの頑張る姿にご声援をお願いいたします。

運動会当日のプログラムを裏面に印刷しておきましたので、ご覧ください。

鬼怒川の堤防決壊による洪水の被害は予想以上に甚大なものです。ここ数年、日本は様々な自然災害に見舞われているという思いを強くしています。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、忘れたくなるほど災害が起こっている日本という思いがしています。そうは言っても、誰しも我が身に災害が降りかからなければ自分だけは大丈夫、自分の家だけは大丈夫と思いがちです。

他地域の被害からの課題を教訓として学び、自分の地域の備えに生かすことが必要であろうと考えます。八月号でお知らせしたとおり、東地区において自治会連合会や消防団が主導して大規模な防災訓練が行われました。

これに加えて、とうふの会（東小の応援団）が中心となって、前日から宿泊体験をし、避難所の設営、心肺蘇生法などの訓練を子どもたちを交えて行っていました。

学校では、九月四日（金）に第三回防災訓練を行いました。想定は地震発生です。この訓練の目的は、休み時間に地震が発生したとき、

①児童自身、どこにいても、近くに先生がいなくても、自分で安全に避難行動がとれるようにすること。

②教職員が各自の役割に基づき児童の安全確認や避難誘導が的確に行えるようにすること。

訓練は、児童には事前にいつやるかを知らせません。地震はある日ある時突然発生します。いざという時、どう判断し、どう行動するか、その能力を身に付けるよう訓練を重ねています。

ご家庭においても地域の訓練に参加することをはじめ、避難所まで家族で歩いてみるとか、非常食を食べてみるとか、家族各自の役割を相談するなどして、防災の具体的な取組を行うことをご提案したいと思います。